

平成 29 年2月17日
参考資料

国の「健康・医療戦略」に「未病」が盛り込まれました！

本日、「未病の考え方などが重要になる」という表現とともに、「未病」の定義が新たに盛り込まれた国の「健康・医療戦略」が閣議決定されました。

これまで知事は、健康・医療戦略参与会合の参与として、国の戦略に「未病」を位置付けるよう提案してきており、今回、その提案が実現したものです。

国の戦略に「未病」が位置づけられたのは今回が初めてであり、本県としても、今後、未病コンセプトに基づく取組みを強力に推進してまいります。

閣議決定された「健康・医療戦略」における「未病」に関する内容

別添のとおり

閣議決定された「健康・医療戦略」は、内閣官房 健康・医療戦略室のホームページに掲載

<http://www.kantei.go.jp/jp/singi/kenkouiryou/senryaku/index.html>

<黒岩 祐治 神奈川県知事コメント>

本日、国の「健康・医療戦略」の中に、「未病の考え方などが重要になる」という表現が、新たに盛り込まれました。

私はこれまで、健康・医療戦略 参与会合の場で、超高齢社会を乗り越えるためには、未病コンセプトを国の政策に位置付けて推進することが必要だと、繰り返し主張してまいりました。

今回、国が未病コンセプトの重要性を認識し、健康・医療戦略に位置付けたことで、今後、未病コンセプトの広がりに、ますます拍車がかかるものと期待しております。

問合せ先

神奈川県政策局ヘルスケア・ニューフロンティア推進本部室

特区連携担当課長 今部 電話 045-210-3281

特区連携グループ 沖田 電話 045-210-3265

「健康・医療戦略」（抄）

（下線部が未病に関する箇所）

〈はじめに〉（P 4～5）

「（前略）神奈川県において創出に向けた取組が進められている「健康・未病産業や最先端医療関連産業」をはじめとした健康長寿社会の形成に資する新たな産業活動の創出やこれらの産業の海外における展開を促進することにより、（以下略）」

「（前略）こうしたデータを基に保健医療の専門職が適切な段階で適切な予防策を講じることができるようになれば、健康寿命は更に延伸する。PHRの実現、すなわち健康・医療・介護に分散している情報を個人単位として統合する際には、健康か病気かという二分論ではなく健康と病気を連続的に捉える「未病」の考え方などが重要になると予想される。

その際には、健康・医療関連の社会制度も変革が求められ、その流れの中で、新しいヘルスケア産業が創出されるなどの動きも期待される。（以下略）」

（注2）未病とは、健康と病気を「二分論」の概念で捉えるのではなく、心身の状態は健康と病気の間を連続的に変化するものとして捉え、この全ての変化の過程を表す概念である。

健康・医療戦略参与会合名簿

座長

石原 伸晃 健康・医療戦略担当大臣

座長代理

越智 隆雄 内閣府副大臣

副座長

武村 展英 内閣府大臣政務官

和泉 洋人 内閣総理大臣補佐官（健康・医療戦略室長）

健康・医療戦略参与

黒岩 祐治 神奈川県知事

黒川 清 政策研究大学院大学 アカデミックフェロー

近藤 達也 医薬品医療機器総合機構 理事長

戸田 雄三 再生医療イノベーションフォーラム 代表理事・会長

中尾 浩治 日本医療機器産業連合会 会長

中釜 斉 国立がん研究センター 理事長

畑中 好彦 日本製薬工業協会 会長

水野 弘道 京都大学 iPS 細胞研究所 アドバイザー

森下 竜一 大阪大学大学院医学系研究科 教授

山本 修三 一般社団法人日本病院会 名誉会長

横倉 義武 公益社団法人日本医師会 会長